

平成30年度半田市障がい者自立支援協議会

第3回現場職員向け研修ダイジェスト

発行元：半田市 平成30年7月

福祉事業所などで働く職員に対して、利用者の障がい特性や支援のポイントを学んでいただくための研修を行っています。

- 講師：大田 優子氏（生活支援センターわたぼうし）
- 日時：平成30年7月8日（日）15時20分～17時20分
- 場所：半田市役所 大会議室
- 内容：行動障がいのある方への支援のポイント
行動障がいのある方を理解する支援者の育成と、これからの支援の視点を変えていくことを目的とした研修を、強度行動障がい支援者養成研修と併せて実施しました。
- 参加人数：46名



行動障がいとは

噛みつきや頭突き（直接的他害）、睡眠の乱れや人へのこだわり（間接的 he 害）、自傷行為等の行動が高い頻度で見られることです。社会参加が制限され、生活の質を低下させるだけでなく、周囲の誤解を招き、正当な評価が受けられないことがあります。

このため、専門的な知識や技術に基づく適切な支援が必要です。

行動障がいが生じる理由

行動障がいは、障がい特性のみによるものではなく、とりまく環境によって生じるものであり、本人が困っていることのサインであると考えられます。

なぜ困ってしまうのか原因を探ることで、行動が生じにくい環境を整備することや、代わりとなる適切な行動を伝えるなどの対応をとることができます。

行動障がいにも有効な支援 … 構造化

構造化のポイント

- ・評価（アセスメント）に基づく
必要な構造化は人によって異なるため、ひとりひとりの必要性、理解力などをアセスメントする。
- ・納得しているかを考える
本人が分かっているか、納得しているかを考え、本人にとって意味のあるものにしていく。
- ・再構造化
個別アセスメントを繰り返し行い、構造化のアイデアを修正することで、より良いものに変えていく。

構造化の主なアイデア

- ・物理的構造化
物理的構造化の狙いとして、場所の意味を伝えることがあります。例えば、蛇口を見るとすべてひねってしまう行動に対しては、手を洗うための場であり、遊ぶ場ではないことを伝えていきます。
- ・スケジュール
予定を見通せることにより不安や混乱を減らすため、具体的な予定を立て、カードやタブレットによって視覚的に伝えられるようにします。

【第4回現場職員向け研修のご案内】

- 開催日 平成30年9月25日（火）
10時00分～12時00分
- 場所 雁宿ホール 講堂
- 内容 身体障がいのある方への支援のポイント

受講を希望される方は、研修の1週間前までに右記の問い合わせ先までお申込みください。

お問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（青木・森）
TEL：0569-21-5585
半田市 地域福祉課（杉浦（郁）・杉浦（友））
TEL：0569-84-0643